

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生化学系分野		病態検査学特論Ⅰ・Ⅲ				北中 明	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
病態検査学および血液・腫瘍学に関する研究について理解を深め、自身の研究の展開へ結びつける学識・能力を修得する。							
授業到達目標							
(1) 病態検査学または血液・腫瘍学に関する研究への理解や英文研究論文を読解し、その内容を紹介しつつ批判的評価を加えることができる。 (2) 文献内容の優れた点を参考にして、自身の研究に反映できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	金	14:00-15:00	北中 明	講義	[抄読会]	病態検査学または血液・腫瘍学についての教室内での研究内容および／または英文研究論文を研究グループ内で紹介し、それに関する考察・討議を展開する。 [場所:本館棟5階カンファレンス室11]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
(1) 研究や論文紹介時の質疑応答を通じて、口頭で評価を与える。 (2) 研究や論文内容の要約をレポートとして提出させ、それについて指導をおこなう。							
教科書							
ISBN-9784524248827, 血液専門医テキスト(改訂第3版), 日本血液学会, 南江堂, 2019							
参考書							
ISBN-9789283244943, WHO classification of tumours of haematopoietic and lymphoid tissues, Steven H. Swerdlow, et al., WHO Press, IARC, 2017 ISBN-9784830614262, 血液細胞アトラス(第6版), 通山薫, 張替秀郎, 文光堂, 2018							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 紹介論文がある場合は約1週間前にメール送信されるので、当日までに理解しておく。予習・復習ともに1時間以上をかけること。 (2) 自身が担当の時は、数週間前から十分な準備をして臨む。その場合予習には3～6時間を要する。復習は1時間ほどかける。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
病態検査学または血液・腫瘍学に関する研究内容の理解や英文研究論文の読解を通して科学的思考のあり方を修得し、自身の研究遂行に役立てることができる。							
注意事項・メッセージ							
英文の研究論文に日常的にふれる習慣を身につけてください。							